

## 【研究・研鑽G】

## SC経営士会：「アイデアソンでSCの未来をつくろう・かたろう」 活動報告

過去2回、THE CIRCLEにて「アイデアソンでSCの未来をつくろう・かたろう」をご報告して参りました。第3回（最終回）は、2025年1月22日（第49回日本ショッピングセンター全国大会初日）、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で行いました成果発表についてご報告致します。

成果発表では各チーム10分で、「地域貢献」、「テナントとディベロッパーの関係」、「ESG」、「マーケティング」の順番で発表を行いました。発表の具体的な内容は別表および、SC協会WEBサイト（動画）または、SC JAPAN TODAY25年4月号に掲載しているのをご覧いただければ幸いです。

当日は、約160名の方に聴講いただきました。THE CIRCLE読者で当日会場にて聴講された方もいらっしゃると思いますが、いかがだったでしょうか？どのチームも工夫を凝らし、ショッピングセンターの課題解決と未来に向けた提言となりました。

聴講者からは、「有志・他社同士でここまで仕上げたのは凄い!!」「このアイデアソンの取組みはSC経営士の知見を形にしていく良い取り組みと感じた。」というコメントを頂戴しました。また、参加者からは、「外部のピッチに参加して、SC業界以外の人からの評価も聞いてみたい」「他社とのコミュニケーション取れたのよかった」という前向きなコメントを頂きました。

2月10日「振り返り会」と「打ち上げ」を行い、2024年度のアイデアソンは幕を閉じました。2025年度、皆様へ更に進化させたアイデアソンをご案内できるよう努めて参ります。

最後に、本企画へ参加いただいた方、力を貸してくださった方々に感謝を申し上げます。

SC経営士会WEBサイト

アイデアソン  
動画公開中

成果発表会（2025年1月22日）  
集合写真



会場全体写真



振り返り会（2025年2月10日）  
グループディスカッション



打ち上げ



## 「2040年、人材不足は本当にヤバい？今こそ考えるSC業界の未来」 ～2040年の働き手不足1100万人の衝撃～

2025年3月6日（木）に春の例会で「日本の人材戦略」について学ぶ機会を設けました。  
「講演会の要約」並びに「参加者の感想」をお伝え致します。

### ■講演会の要約

労働供給制約社会の日本では、働き手不足は「1100万人」となる。医療・介護危機、インフラ・物流危機等、全ての業種における人手不足が急速に進んでいく未来が統計学的に確実となる。そして、40年までに唯一増加するのは85歳以上の人口。潜在的な労働者の高齢化も進行している。

都道府県別では、40年時点で東京都・神奈川県・千葉県以外は20%～40%程度の生活維持サービスが不足することになる。つまり、社会に必要な労働需要を賄える労働供給が下回る。

解決のためには、4つの発想が必要。「徹底的な機械化・自動化」、「ムダ改革」、「シニアの小さな活動」、「ワーキッシュアクト」特に、「徹底的な機械化・自動化」について投資ができる企業が今後生き残る（人間の力を拡張し、賃金上昇にも耐える経営ができる）。そのためには、日本は最先端技術を駆使し、生活維持サービスの効率化を徹底する「省力化」の視点で投資をする必要がある。

### ■参加者の感想

・人材不足について、具体的な数値や事例等を初めて知って驚いたと同時に今すぐ対策を講じないといけないと感じた。

・労働供給制約社会では、「省人化」は人の働き口を奪うのではなく、人の活躍を促すアクションになるというのが斬新だった。

・SC業界は生活維持サービスの側面が強いので、人手確保のためにも4つの発想を取り入れた対策を講じていく。

### ■次回の例会

次回は、夏の例会となります。今回、オンラインの音声に不具合が発生したためオンライン参加の方に、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。次回は必ず改善致します。

●講師 リクルートワークス研究所 主任研究員 古屋 星斗様

### ●プロフィール

2011年一橋大学大学院社会学研究科 総合社会科学専攻修了。  
同年、経済産業省に入省。産業人材政策、法案作成、  
福島復興・避難者の生活支援、政府成長戦略策定に携わる。  
2017年より現職。労働市場分析、未来予測、若手育成、  
キャリア形成研究を専門とする。

### ●研究テーマ

- 1, [未来予測2040 労働供給制約社会がやってくる](#)
- 2, [「令和の転換点」の研究](#)

●著書「働き手不足1100万人」の衝撃 書籍情報は「[コチラ](#)」



## 【北海道ブロック活動報告】

### 「2024年度第二回ブロック会議」

2025年2月20日（木）、札幌駅総合開発㈱会議室において、北海道ブロックメンバー11名に加え、ブロック内SCに籍を置く第33期SC経営士試験合格者三名（イオン北海道㈱酒井新一さん、㈱丹青社新谷大樹さん、㈱北海道エアポート中澤佑哉さん）にお声をかけさせて頂き、今年度第二回目となる北海道ブロック会議を開催し、主に本年活動実績の振返りと2025年度の活動計画等について意見交換や情報共有を行いました。

今年度の北海道ブロックでは、テーマ「次世代SC人材の育成活動」のもと、既存の活動（「SC道場」や北星学園大学とのコラボ講座）に加え、新SC経営士2名を輩出した「SCLab」の開講や九州沖縄ブロックとの視察交流会の実施、また、北星学園大学（本年3月にSC協会への入会を申請）との新たな連携の実現等、いくつかの新たな取組みを始動させました。

本ブロック会議では、2025年度においても、既存の活動内容も含め、それら新たな取組みをさらに拡大化、深度化させていくことや、また今後の北海道ブロック運営体制（副ブロック長や運営委員の増員等）についても方針を確認しました。

会議終了後の懇親会では、SC経営士試験合格者三名のお祝い会も兼ね、飲み放題のドイツクラフトビール片手に大いに盛り上がりました（痛風の人はレモンソーダでした）。思えば、数年前に比べ、北海道ブロックも少しづつ組織が大きくなっていることを実感しています。

2025年度も、北海道ブロックは、企業間や年代間の枠組みを超え、メンバー同士緊密に連携しながら、今後も業界のさらなる発展に努めて参ります。

札幌駅総合開発株式会社 吉原 徹平（第29期）



## 「直前企画！ 商業施設×大阪・関西万博」

SC経営士会近畿ブロック副ブロック長 今川耕平 (23期)

こんにちは。今回は私、今川から実施レポートをお届けします。

今回のセミナーは、3月26日(水)に「直前企画！ 商業施設×大阪・関西万博」と題してJR西日本SC開発 ルクア大阪内会議室で開催されました。このテーマに基づき、事前に開催の趣旨を以下の3点に置きました：

- ・大阪・関西万博の目的や提供価値について理解を深めること
- ・短期的に万博が商業施設に与える影響や商機を共有すること
- ・中長期的には万博がもたらす「レガシー」をどのように取り込み、発展させていくか

講師は、SC業界で最も万博に詳しいと噂されるJR西日本SC開発(株)カンパニー統括本部未来価値創造部長の出口清史様と、三菱総合研究所 万博推進室長の今村治世様の両名にお願いしました。

簡単なアイスブレイクの後、出口様と今村様の対談形式でスタートしました。今村様からは、万博開催決定前後のドラマチックなお話やロゴマーク制定時の裏話、今回の万博のもつ特殊性や難しさについてお伺いし、万博に対する認識のベースを合わせることができました。1970年の大阪万博がもたらしたものがハードレガシーだとすると、今回の万博ではソフトレガシーとして「カルチャー」や「情緒的価値」を残すことが重要だとしたうえで、万博の価値を夢洲の会場だけに留まらず「街」へ広がるように、大阪の街において関係人口を増やし、人と人を繋げて関係者を引き込む仕組みを公式・非公式を問わず作ることに注力されていました。その一例が、万博を面白くする方法をみんなで考え仕組み化して広げる「demo!expo」の取り組みであり、ルクア大阪・心斎橋PARCOで行われる「エキスポ酒場」の例にもあるように、人と人が交差する場をもつSCと万博は本来非常に相性が良く、ある意味乗ったもん勝ちである、とのお話が如何にも大阪らしく印象的でした(オリンピックほど権利関係が厳しくないそうです)。

意見交換の時間では、「今から乗っかるにはどうしたらよいか」「日本のサステナビリティに関する技術を広めてほしい」との意見の他、期待されるナイトエコノミーの拡大についての意見交換もされました。

私を含めた参加者は、万博は184日間で2800万人が訪れる一大国家イベントであり、今回のセミナーでも各国のパビリオンや空飛ぶ車等の新技術の話が聞けるものだと思い込んでいた節もあり、我々の想像の斜め上をいくお二人のお話にやや面食らった様子もありました。一部の関西の企業では「万博効果」という得体の知れない要素によって来期の売上目標を上げさせられる等、どこかやらされ感も散見される中、お二人に共通する「正解が分からない中で自分から万博を楽しみに行く」姿勢には強烈な刺激を受けました。せっかくのビッグウェーブ、自分自身を主語にして楽しまないで勿体ない!そんなメッセージをお二人から受け取りました。

参加人数は20名と小規模でしたが、広く関東・中部・中四国からもご参加いただき、終了後の懇親会では小籠包さながらの熱い意見交換がなされたことを付記しておきます。

本年度はこれまた開業直後で熱々のグラングリーン大阪をはじめとしたうめきた2期開発に関するイベントも本部と共に企画中です。全国からのご参加をお待ちしております。



# SC経営士の交流サークル（仮称）未来くるSC連絡会 活動の紹介

三井不動産商業マネジメント(株) 吉田 武司(27期)

交流サークル『(仮称) <sup>ミラクル</sup>未来くるSC連絡会』では、LINEオープンチャットでの緩やかな連携を起点にリアルでの懇親会やオンラインでの勉強会で交流をしています。現在40社以上約100名のSC経営士がつながっています。オープンチャットは、プライベートなLINEIDに紐づかずに参加でき、また外部非公開で承認された方しかアクセスできないので、安全にオンラインでの交流をすることができます。

年末にはリアル忘年会（都内開催）、SCフェアではアイデアソン参加者のお疲れ様会&懇親会（32期・皆川さんが発起）を当日授与式で加わった33期の皆さんも交えて開催し、大いに盛り上がりました。3月には、有志（23期・廣瀬さん、24期・平林さん）運営でオンラインの『DX勉強会』を実現。オープンチャットでは、商業関連のニューストピックや新規開業やRN情報の共有のほか、「皆さんはどうしていますか?」といった共通の運営管理対応の共有もフラクにおこなっています。

オープンチャットで情報連携しながら、経営士会主催の交流・研鑽機会への参加に加えて、有志の勉強会や情報交換会も増やしていきたいです。SC経営士のつながりを広げていきたい方のご参加をお待ちしております。（運営メンバーも募集中♪です。）

まずはお気軽にオプチャの見学にきてください。

見学・入会希望の方はコチラのQRコードから。

[お名前・合格期・社名・ご紹介者を入力いただき、確認後、入室となります。]

## <2025年度 運営メンバー>

- 吉田（27期・三井不動産商業マネジメント(株) [takeshi-yoshida@mf-shogyo.co.jp](mailto:takeshi-yoshida@mf-shogyo.co.jp)
- 岩本（27期・東急(株) 渋谷スクランブルスクエア(株) [takuma.iwamoto@scsq.co.jp](mailto:takuma.iwamoto@scsq.co.jp)
- 石川（29期・イオンモール(株) [ishikawan@aeonmall.com](mailto:ishikawan@aeonmall.com)
- 中川（31期・(株)東急モルズステベロップメント) [nana.nakagawa@tokyu-tmd.co.jp](mailto:nana.nakagawa@tokyu-tmd.co.jp)
- 皆川（32期・(株)小田急SCディベロップメント) [nana.nakagawa@tokyu-tmd.co.jp](mailto:nana.nakagawa@tokyu-tmd.co.jp)
- 中山（22期・(株)トリニティーズ) [ryo@try-z.jp](mailto:ryo@try-z.jp)



忘年会



SC経営士有志  
**DX勉強会** vol.1

【アジェンダ】

- ・貴社を支える顧客やコアファンは誰ですか？
- ・一生涯のファンを育成する思想こそがOOLとLTV最大化
- ・優良顧客育成へのカスタマージャーニー-DXと見える化
- ・マーケティングDXを支えるプラットフォーム-6社の実態デザイン
- ・みなさまが困っている、または負担に感じている業務を生成AIが代行
- ・フリーディスカッション

**03.24** 18:50-19:50  
ONLINE



アイデアソンお疲れ様会



果たして生成AIを使いこなせるの？

生成AI実務利用の裾野を広げ生産性を高めるために

0%未満 ⇨ 生成AI活用(プロンプト)

50% ⇨ メニュー化(手順・選択)

90%+α ⇨ 業務システム(裏側でAI稼働)

DX勉強会  
(優良顧客育成プロセスと  
DXツール・技術の整理)

# 第10回日本SC大賞・第8回地域貢献大賞

最終ノミネート 23SC発表！

この連載では、SCマニアを自称する編集部の面々が「仕事が忙しくて施設を見にいけない」「いまだ知らない本当の良い施設を知りたい」という要望に応え、“わざわざ見に行く価値のある施設”をご紹介します。

2年に一度、SC業界の話題でもある「日本SC大賞（第10回）」「地域貢献大賞（第8回）」の最終ノミネートSCが発表されています。4月下旬には受賞SC発表・6月には定期総会後に表彰式があります。

最終候補SCを見ながら、近年のトレンドもチェック！あなたのお気に入りや関連SCは入っていますか？

## 第10回日本SC大賞 最終ノミネートSC

### 【日本SC大賞（金・銀・銅）】

- イオンレイクタウン
- 軽井沢・プリンスショッピングプラザ
- 三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY
- 阪急西宮ガーデンズ
- ルクア大阪
- イオンモール広島府中

### 【ニューフェイス賞】

- COCONO SUSUKINO
- 麻布台ヒルズ
- 三井ショッピングパーク ららぽーと門真
- 三井アウトレットパーク 大阪門真

### 【リノベーション賞】

- ELM
- フォレストサイドビル
- アミュプラザ長崎

### 【ES賞】

- たまプラーザ テラス
- ラブリーパートナーエルパ

### 【特別賞】

- HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE
- 星が丘テラス

## 第8回地域貢献大賞 最終ノミネートSC

- |          |                 |
|----------|-----------------|
| 北海道支部    | maruyama class  |
| 東北支部     | エスパル仙台          |
| 関東・甲信越支部 | 流山おおたかの森S・C     |
| 中部支部     | マーサ21ショッピングセンター |
| 近畿支部     | ピオレ姫路           |
| 中国・四国支部  | さんすて福山          |
| 九州・沖縄支部  | イオンモール宮崎        |

新入スタッフやSC現場の新しい仲間が加入する4月。SC視察に「SC大賞・地域貢献大賞SC」をベンチマークとして見てみよう！日本を代表するSCたちです。



SC JAPAN TODAY 4月号にはSCアカデミーテラス Presents 『新時代・SCの未来を語る～今、みておきたいSC・取り組み事例～』もあるのでぜひご覧ください。

### 過去金賞受賞SC

- 1回：2004玉川高島屋ショッピングセンター
- 2回：2006ルミネ横浜
- 3回：2008ららぽーと TOKYO-BAY
- 4回：2010ラゾーナ川崎プラザ
- 5回：2012阪急西宮ガーデンズ
- 6回：2014テラスモール湘南
- 7回：2016御殿場プレミアム・アウトレット
- 8回：2018二子玉川ライズ・SC

前回受賞SC



第9回日本SC大賞・金賞  
経済産業省商務・サービス審議官賞  
『新静岡セノバ』



第7回地域貢献大賞（倉橋良雄賞）  
国土交通省都市局長賞  
『SAKURA MACHI Kumamoto』

## SCと競馬と人生と

### 「連勝！👉」

業務広報G・中山（22期）です。

昨年は未勝利だった愛馬たちもこの春は3頭が出走し2勝。世の中、なにがあるかわかりません(笑)。歴史的な名馬の出資馬ソングラインの後継候補になる馬が出現するか！？ワクワクしながらいよいよ春競馬の本番が始まり大忙しです。

1年の経過は早く、この夏からはまた2歳馬（3頭）がデビュー予定！4月からは世界の競馬でドバイ、3歳馬の晴れ舞台クラシック（皐月賞・桜花賞・ダービー）も開催。

出資馬掲載につき、社台/サンデー/G1サラブレッドクラブ許可済  
Photo by KEIBABOOK



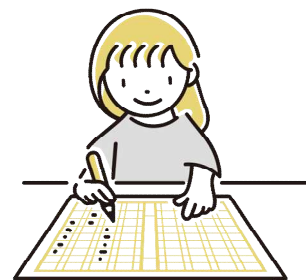
今月の一コマ@阪神甲子園球場（西宮市）

34号でも紹介した母校付属校の甲子園。なんと夏に続き、春の選抜にも出場！開業したグラングリーンにも立ち寄りしました。



コラム寄稿 大募集！

この【THE CIRCLE】にコラムを寄稿して下さる方を募集しています。単発・連載、どちらでもOKです。自社ネタ、個人ネタ、どちらでもOKです。ひとりで、グループで、有志メンバーで、いずれもOKです。ぜひお気軽にお問い合わせ下さい！皆様のご寄稿をお待ちしております！



#### 【編集後記】

新年度、こどもも我々の業界に、多くの新入社員を迎えることとなりました。必ずしも順風満帆とは言えない我が業界で、こうした若いみなさんと新たな付加価値を創出し、将来の成長の担い手となることを願うばかりですが、チームのマネジメントを担うSC経営士のなかでも、こうした若いみなさんと、ちょっとした意向の違いや認識のずれで、業界外への異動を希望されたり、あるいは退職されたりと、そんな経験をした方も、少なくないのではないのでしょうか。

戦力として独り立ちして、安心した途端、まさかの申出があった、といったことも耳にしますが、「戦力として育成する」アプローチだけでなく、「チームの一員としての帰属意識を持ち、そこで期待役割を果たしたいと思ってもらう」アプローチ、すなわちオンボーディングに向けた丁寧なサポートとコミュニケーション、この両輪が欠かせないのではと、とくに今日、強く思うところです。

今回も最後までおつきあいいただき、ありがとうございました。本年度も、なにとぞ、よろしくお申し上げます。

担当：今井（16期）

- ◆所属先・部署・役職に変更がありましたらお知らせください。
- ◆「SC経営士ニュース」に対するご意見・ご感想は、こちらにお願いします。

SC経営士会 業務広報グループ  
田部井（17期）

[ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp](mailto:ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp)

SC協会 SC経営士会事務局

[sckeieishikai@jcsc.or.jp](mailto:sckeieishikai@jcsc.or.jp)